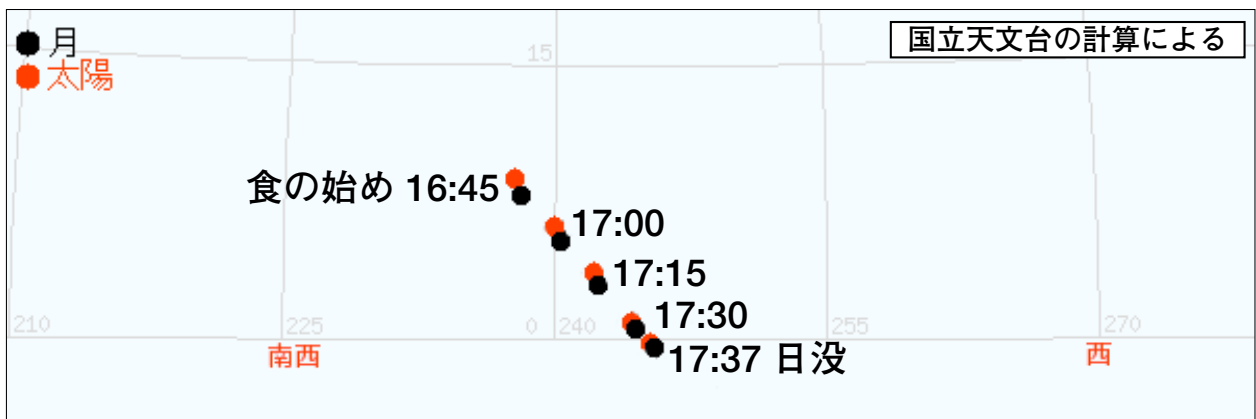
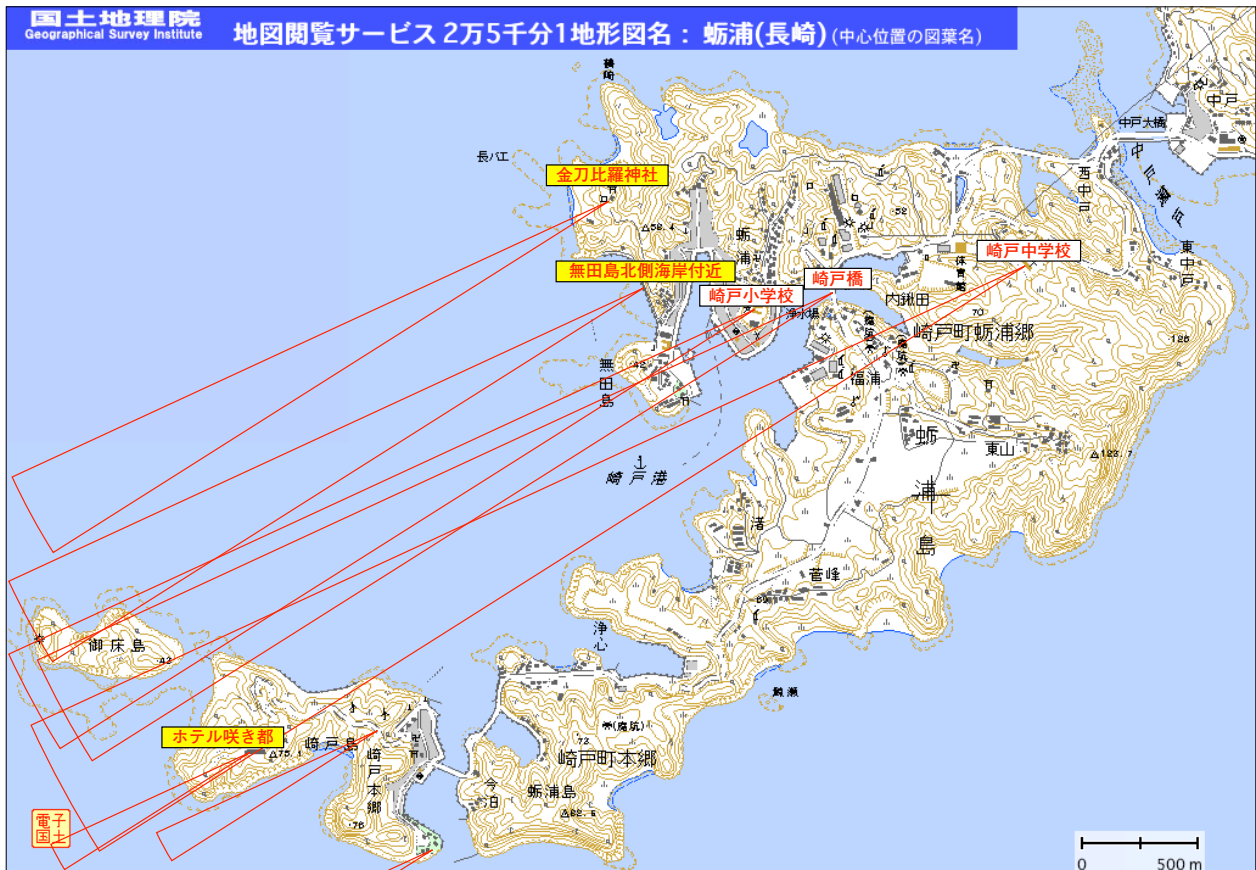


日食観察装置を作ろう

長崎大学 教育学部 武藤浩二 (技術)

来年1月15日の日没時に、半分強が隠れる部分日食（金環日食）を見ることができます。

崎戸地区では地図に示すようなところで、大島地区では百合岳山頂付近が適地でしょう（西南西方向に水平線が見える場所が良い）。



トイレットペーパーの芯とアルミホイル、トレーシングペーパー等を使って簡単なピンホール式の日食観測装置を作って、この日食を観察してみませんか？

(作り方は裏)

用意するもの

材料

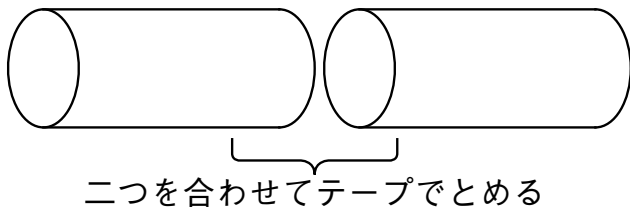
- ・ トイレットペーパーの芯 2個
- ・ アルミホイル (10cm×10cm) 1枚
- ・ トレーシングペーパー (〃) 1枚
- ・ 黒い紙 (20cm×30cmくらい) 1枚
- ・ 輪ゴム 4本

道具

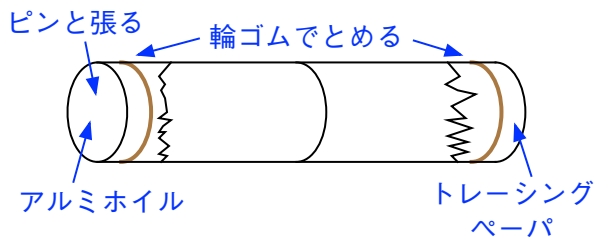
- ・ セロテープまたはビニールテープ 適量
- ・ 待ち針 1本

作り方

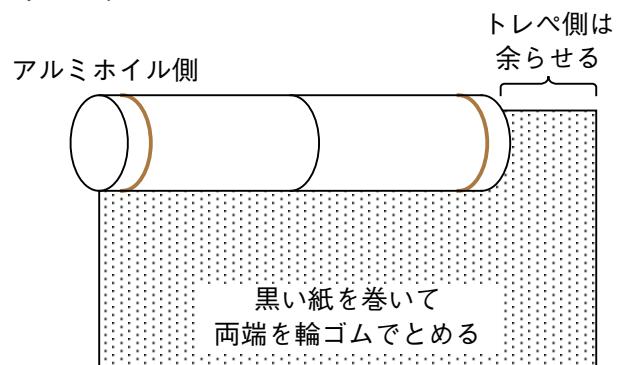
1. トイレットペーパーの芯2個をテープで貼り合わせて、長い芯を作る。



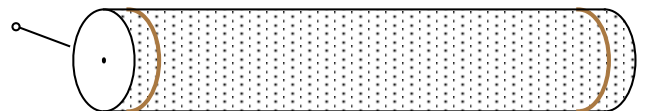
2. 両端にそれぞれアルミホイルとトレーシングペーパーをかぶせ、輪ゴムでとめる。アルミホイルとトレーシングペーパーはピンと張るようにすること。



3. 黒い紙を巻きつけて、輪ゴムでとめる。トレーシングペーパー側が余るようにすること。



4. 待ち針でアルミホイルの中央に小さな穴（ピンホール）をあける。穴は正しく円形になるようにする。円形でないときは作り直そう。



使い方

トレーシングペーパー側を目にあてて太陽をのぞきます。
トレーシングペーパーにピンホールを通った太陽の像が映ります。

日食本番の前に、見るができるかどうかを確認しておきましょう。